

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	人文科学概論（コミュニケーションを含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	平瀬芳美	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	(1) 接遇、医療面接について（実技・外部講師による特別授業を含む）＊コミュニケーション (2) 上記以外の内容（希望に基づき、パソコンの基礎知識や文芸等）	
到達目標	コミュニケーション・接遇について、より深い知識を得る。 臨床実習に向けて、医療面接・医療接遇が円滑にできるようになる。	
授業計画	前期計 （15週）	前期計 15時間
	1. オリエンテーション	1
	2. 医療面接 (1) 復習（実践編第1章～4章） (2) 施術者の姿勢・医療面接の目的（解説編第1～3章） (3) 質問法・傾聴テクニック（解説編第4～5章）	1 4 4
	3. 接遇（外部講師による特別授業を含む） ＊コミュニケーション[3時間]	3
	4. その他	2
	6. 期末試験	
	後期計 （15週）	後期計 15時間
	1. 医療面接（承前期） (1) 解釈モデル（解説編第6～7章） (2) 患者教育・各種対応（解説編第8～9章） (3) 医療面接学習編（学習編、付録）	5 5 1
	2. 医療接遇実技 ＊コミュニケーション[2時間]	2
	3. その他	2
	4. 期末試験	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則24」に基づき、各学期末に期末試験(筆記)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	いかなる理由でも、15分を超える遅刻や早退は欠席となります。 再評価試験は、出席要件を満たし、学年末評価が50点以上の場合のみ行います。	
自己学習の進め方	予習よりも復習に重点を置いた学習習慣を期待します。	
使用教科書	改訂版 鍼灸臨床における医療面接 丹澤章八 医道の日本社 2019年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	社会科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	河原塚 由紀	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	コンピュータの活用を通じて、視覚障害者の文書処理に活用し、各科目の学習に役立てるとともに、情報を適切に収集・処理・発信するための基本的な知識や技能を習得する授業です。	
到達目標	3年次での臨床実習におけるカルテ作成ができる。また、卒業後の就労時に役立つコンピュータに関する技術や知識を身につけます。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 15時間
	パソコンによる情報処理 ①ガイダンス ②パソコンの仕組み ③キーボード操作と音声ソフト ④パソコンソフトの実際 ⑤パソコンの活用	1 2 5 3 3
	期末試験（総括的評価） 期末試験の講評	1
	後期計 (15週)	後期計 15時間
	パソコンの理療への活用 ①理療におけるパソコン利用の目的と意義（カルテ作成） ②理療援助の支援システム ③その他の支援システム	12 1 1
	期末試験（総括的評価） 期末試験の講評	1
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の要点を復習します。授業はカルテ作成を目標において進め、各項目ごとに習得度を確認します。習得が不十分な場合は可能な限り繰り返し練習することで理解を深めます。	
自己学習の進め方	1週間に1回の授業ですので、授業のみでの技術の習得は難しいこともあります。そのため利用者の皆さんには技術がより早く定着できるよう、1回につき短時間でも良いので居室または学習パソコン室において実際にパソコンを使用して繰り返しの練習を期待します。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	無	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	自然科学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	武田 和男	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	原子と分子が生命現象の基本構造を形成しその変化によって生命活動が維持されており、原子レベルから地球の生命活動があることを理解し、地球史レベルの時間の流れと生命の進化を学びます。	
到達目標	東西の医学を学ぶ者として必要な、自然科学の基礎的な理念・概念・法側頭を理解し、生命活動の基本構造及び生命活動について説明することができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 15時間
	丁先生漢方っておもしろいです	2
	あなたの体は9割が細菌	2
	免疫革命	2
	ファーブル昆虫記 キンバエ	2
	動的平衡	3
	僕には鳥の言葉がわかる	2
	トドネオオワタムシ+地質年代	1
	まとめの時間	1
	前期期末試験	
	後期計 (15週)	後期計 15時間
	地球大進化1～3	3
	まとめ	1
	地球大進化4～6	3
	まとめ	1
	種の起源について	2
	脳内革命	2
	日本の味、醤油	1
	まとめの時間	2
	後期期末試験	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期末に試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	毎時間の授業に集中し考えをまとめ、試験前に総合的に復習してください。	
使用教科書	配布資料や教室実験・ビデオ視聴	
参考書/参考資料	「発明発見物語」「生命46億年の旅」「地球大進化」	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	保健体育	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	鈴木 奈緒美	
修得単位数	1単位	
年間授業時数	30時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な健康・安全や身体運動について学び、健康の保持増進のため、運動を実践します。なお、運動器に関する各種不調に合わせたストレッチも随時、紹介します。	
到達目標	身体運動を実践することにより施術に応用する能力と態度を習得することが目標です。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 15時間
	フライングディスク	2
	陸上競技	8
	球技	1
	ストレッチ体操	4
	後期計 (15週)	後期計 15時間
	ボッチャ 3 3	3
	ターゲットバードゴルフ	2
	ボッチャ	3
	スカットボール	4
	カローリング	3
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	観察記録法により評価します。	
履修上の留意点	授業の冒頭では前回の授業の復習をし、また授業では各種目の完成を目指します。習得度を確認し、不十分であれば繰り返し練習することで理解を深めます。	
自己学習の進め方	授業でスムーズに身体を動かすことができるように、またケガの予防のため日頃より軽くトレーニングを行ってください。	
使用教科書	無	
参考書/参考資料	必要に応じて配布します。	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	生理学Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	森川 賢一	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者に必要な人体機能の正常な働きを理解し、病的な症状の理解に必要とされる基本的な知識を学びます。得た知識を施術に応用する能力と態度を習得する。	
到達目標	(1) 生理学の基礎的な専門用語を理解できる。 (2) 人体を構成する細胞および器官の正常な働きについて簡潔に説明できる。 (3) 施術者として必要な人体の機能について理解できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 45時間
	①第8章 内分泌	10
	②第9章 生殖・成長と老化	5
	③第10章 神経	28
	④前期評価 (中間試験・期末試験)	
	⑤試験の講評	2
	後期計 (15週)	後期計 45時間
	⑥第11章 筋	8
	⑦第12章 運動	10
	⑧第13章 感覚	10
	⑨第14章 生体の防御機構	9
	⑩第15章 身体活動の協調	6
	⑪後期評価 (中間試験・期末試験)	
	⑫試験の講評	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期、後期ともに「評価及び試験実施要領」第3条に基づき、中間試験と期末試験(評価)を行い、その平均点(小数点以下は切り捨て)を当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	1年次の解剖学と生理学と関連付けながら、人体の形態と機能を理解し、人体の正常とはなにか、全体像を把握できるよう学習に取り組んでください。基礎科目(解剖学、生理学)及び理療臨床医学各論などの応用科目との横断的な学習を意識し、復習やまとめを中心に学習してください。曖昧な箇所は放置せず、いつでも質問してください。一緒に解決していきましょう。人体のことがわかった、実技や臨床がもっと好きになります。	
使用教科書	盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版12刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編 内田さえ・原田玲子他著 医歯薬出版 2025年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	病理学概論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	森川 賢一	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	基礎医学と臨床医学各論・総論など応用科目への架け橋となる科目です。疾病の成り立ち、症状、経過、原因および、生体の反応を学習する。	
到達目標	(1) 病理学用語を正しく使用できる。 (2) 疾病の成り立ちを理解できる。 (3) 病理学の基本的事項について説明できる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	①オリエンテーション	1
	②第1編 病理学の基礎	5
	③第2編 病因 (内因・外因)	15
	④ 病因 (加齢・老化、小児疾患)	4
	⑤第3編 細胞傷害と修復	4
授業計画	⑥前期評価 (期末試験)	
	⑦試験の講評	1
	後期計 (15週)	後期計 30時間
	⑧第4編 循環障害	7
	⑨第5編 炎症	7
	⑩第6編 免疫異常	7
授業計画	⑪第7編 腫瘍	7
	⑫後期評価 (中間試験・期末試験)	
	⑬試験の講評	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期は期末、後期は中間期と期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行います。前期は期末、後期は中間期と期末の平均点(小数点以下は切り捨て)を当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の1つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	すべてを暗記しようとするとても大変な科目です。大事な箇所については授業中に強調します。自己学習の時間を取り、わからない箇所を自ら探し、質問できるように努めることをおすすめします。	
使用教科書	疾病の成り立ちと予防Ⅱ(病理学概論)(初版) 白岩伸子・大越教夫 著 日本理療科教員連盟教科書委員会編 岡山ライオンズ 2025年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学総論	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な西洋医学における診察法(医療面接及び身体診察)、臨床検査法、治療法の概要について学びます。	
到達目標	(1)各種診察法や臨床検査、治療法の概要を説明できるとともに、得られた所見から疑われる疾患(疾患名)を推論することができる。 (2)臨床実習を見据え、症状に応じた徒手検査を選択し、正しく行うことができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 0時間
	別紙	
	後期計 (15週)	後期計 0時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	前期は期末、後期は中間期と期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行います。前期は期末、後期は中間期と期末の平均点(小数点以下は切り捨て)を当該学期の評価点とします。学年末評価は、前期と後期の評価点の平均点(小数点以下は切り捨て)です。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	教科書や配布資料を精読し内容の理解に努めてください。また、解剖学や生理学といった基礎科目について振り返り、知識の整理に努め、科目横断的な学習を心がけてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅱ(臨床医学総論) 第3版 第2刷 筑波大学附属視覚特別支援学校 鍼灸手技療法科 教科書編纂委員会 著 東京点字出版所 2025年	
参考書/参考資料		

(別紙) 令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	臨床医学総論	
前期の授業計画	前期計 (15週)	前期計 45時間
	第1章 診察の概要	2
	第2章 診察の方法	
	第1節 医療面接	2
	第2節 視診	6
	第3節 打診	4
	第4節 聴診	2
	第5節 触診	4
	第6節 測定法	6
	第7節 神経系の診察	10
	第8節 その他の身体機能の診察法	8
	期末試験	
	期末試験講評	1
後期の授業計画	後期計 (15週)	後期計 45時間
	第8節 その他の身体機能の診察法	8
	第3章 臨床検査法	10
	第4章 治療法	8
	第5章 臨床心理	2
	中間試験	
	中間試験講評	1
	期末試験	
	期末試験講評	1
	臨床に向けた徒手検査法・病態把握	10
	総復習	5

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	理療臨床医学各論（病態生理学を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	大塚 ゆき	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	この科目では施術者として必要な、現代医学の立場からみた運動器疾患、神経・筋系疾患の病態生理及び原因、症状、治療の概要を学びます。	
到達目標	(1)各疾患の発症機序を理解し、説明できる。 (2)各疾患の原因や病態、症状を理解し、説明できる。 (3)各疾患に適した検査や治療法の概要を理解し、施術の適否の判断につなげることができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 45時間
	別紙	
	後期計 (15週)	後期計 45時間
	別紙	
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験(評価)を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点(小数点以下は切り捨て)を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。進捗状況によっては、授業計画が変更になることもあります。	
自己学習の進め方	教科書や配布資料を精読し、内容の理解に努めてください。なお、この科目で習得する知識は、すでに履修済みの解剖学や履修中の生理学、病理学、臨床医学総論の知識も必要となりますので、各科目の復習をしてください。	
使用教科書	生活と疾病Ⅲ（臨床医学各論） 第5版 日本理療科教員連盟理療教科用図書編集委員会 日本ライトハウス 2022年	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版19刷 盲学校理療教科用図書編集委員会編・河野邦雄・伊藤隆造ほか 医歯薬出版 2025年 盲学校理療科標準教科用図書 生理学 第3版12刷 盲学校理療教科用図書編集委員会編 内田さえ・原田玲子他著 医歯薬出版 2025年	

(別紙) 令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	理療臨床医学各論（病態生理学を含む）	
前期の授業計画	前期計（15週）	前期計 45時間
	第1章 運動器疾患（ガイダンス） ※うち15時間：病態生理学を含む	1
	第1節 関節疾患	8
	第2節 骨代謝性疾患	2
	第3節 骨腫瘍	2
	第4節 筋・腱疾患	1
	第5節 形態異常	5
	第6節 脊椎疾患	10
	第7節 外傷	4
	第8節 スポーツ外傷	8
	第9節 その他の整形外科疾患	2
	総括的評価（中間試験・期末試験）	
	総括的評価の解答解説	2
後期の授業計画	後期計（15週）	後期計 45時間
	第2章 神経・筋疾患 ※うち12時間：病態生理学を含む	
	第1節 脳血管疾患・および頭部外傷	6
	第2節 感染性疾患	3
	第3節 脳・脊髄腫瘍	3
	第4節 基底核変性疾患	2
	第5節 その他の神経変性疾患および脱髄疾患	2
	第6節 認知症	3
	第7節 筋疾患	3
	第8節 運動ニューロン疾患	1
	第9節 末梢神経障害	7
	第10節 神経痛	3
	第11節 機能性疾患	4
	第19章 麻酔科学※うち3時間：病態生理学を含む	6
	総括的評価（中間試験・期末試験）	
	総括的評価の解答解説	2

令和 8 年度 授業計画書(シラバス)

科目名	東洋医学概論Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	嶋 正明・阿部 博明	
修得単位数	3単位	
年間授業時数	90時間	
授業の方法	講義（遠隔）	
科目の概要 (授業科目の内容)	本授業では、東洋医学の概念・診断法・治療法等の基本的事項、あはき施術を適切かつ効果的に行う知識・能力と態度の獲得を目指します。	
到達目標	東洋医学の基礎理論・病証論・診断法について理解し、東洋医学的治療について説明することができる。 東洋医学を応用して治療することができる。	
授業計画	前期計 (15週)	
	1年次の復習	2
	第3編 第1章 病因論	6
	第2章 病機	1
	第3章 病理・病証論	18
	第4編 第1章 診察法の概要	1
	第2章 四診法	10
	総括的評価（期末試験）	
	総括的評価の解答解説	1
	問題演習	6
	後期計 (15週)	
	第4編 第2章 四診法	12
	第3章 証の立て方	3
	第5編 第1章 東洋医学における治療原則	4
	第2章 鍼灸治療	6
	第3章 治法	3
	第4章 日本の鍼灸医学の特徴	1
	第5章 手技療法	2
	第6章 薬物療法	1
	第6編 東洋医学の沿革	2
	総括的評価（期末試験）	
	総括的評価の解答解説	1
	問題演習	10
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師免許
	あはき施術所での施術経験を活かし、実践を踏まえて教授します。	
成績評価の方法	前期末と後期末に「評価及び試験実施要領」第3条に基づく試験(評価)を行い、その平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。授業の中で形成的評価を目的とした発問を随時行います。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	この科目で習得する知識・技術は、すでに履修済みの経絡経穴概論Ⅰ、東洋医学概論Ⅰの知識を必要としますので、各科目の復習をしておいてください。また、本授業の復習による知識の定着とともに、実習に応用する等、治療技術の向上にも期待します。	
使用教科書	基礎理学Ⅰ（東洋医学概論）(改訂第8版) オリエンス研究会 岡山ライハウス 2024年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	経絡経穴概論Ⅱ	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	近藤 大樹	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	講義	
科目の概要 (授業科目の内容)	人体における経穴の全容、十二経脈、奇経八脈、奇穴、要穴、現代医学研究などについて学びます。	
到達目標	(1) 同身寸法、骨度法の概念を理解して、人体に取穴することができる。 (2) 十四経脈所属の経穴を理解し、取穴することができる。 (3) 要穴を理解し、取穴することができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	オリエンテーション	1
	1 要穴 (復習を含む)	
	(1) 原・郄・絡・募・俞穴	12
	(2) 五俞穴・五行穴・四総穴	8
	(3) 八会穴・八脈交会穴・下合穴	7
授業計画	前期中間試験、期末試験	
	試験講評	2
	後期計 (15週)	後期計 30時間
	2 正経十二経脈の経穴名と部位 (復習を含む)	19
	3 奇経八脈 (復習を含む)	8
	4 経絡経穴の現代研究	1
授業計画	後期中間試験、期末試験	
	試験講評	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、各学期の中間期及び学期末に試験を行い、その平均点を当該学期の評価とします。各学期の平均点（小数点以下は切り捨て）を学年末評価とします。この学年末評価が60点以上であることが単位修得要件の一つです。	
履修上の留意点	再評価試験については、出席要件を満たし、学年末成績が50点以上の場合のみ、行います。やむを得ない理由があっても、15分を超える遅刻や早退は欠席扱いとなります。	
自己学習の進め方	授業内容を復習し、要点をしっかりと覚えてください。 1年次からの経穴名の暗唱を継続し、取穴できるように繰り返し復習をしてください。	
使用教科書	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版13刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 東洋療法学校協会 編 医道の日本社 2025年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習Ⅰ（臨床実習前施術実技試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	藤原 太樹	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	基礎実習で習得した手技の精度を高め、症状ごとの効果的なアプローチ方法を学びます。3年次の臨床実習に備え、医療面接から身体診察、病態把握、治療方針の立案の過程を経て効果的な施術を行うまでの一連の流れを習得します。	
到達目標	(1)患者への配慮を意識した身だしなみ、言葉遣い、接遇ができる。 (2)医療面接及び身体診察ができる。 (3)所定の時間内で主訴に応じたあん摩の全身施術ができる。 (4)物療機器を安全に取り扱うことができる。 (5)あま指施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 60時間
	基礎実習の総復習	16
	身体各部への圧迫揉捏（伏臥位）	23
	身体各部への圧迫揉捏（側臥位）	20
	期末試験	
	期末試験講評	1
	後期計 (15週)	後期計 60時間
	症状に対するあま指施術（肩関節痛・腰痛）	16
実務経験の有無 その活かし方	接遇・医療面接・身体診察	14
	試験に向けた練習 *臨床実習前施術実技試験への準備を含む。	14
	臨床実習前施術実技試験	
	期末試験	
	期末試験講評	1
	臨床実習に向けた練習（時間管理等）	7
	早期臨床実習	8
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。なお、後期期末試験には臨床実習前施術実技試験の内容を含みます。	
履修上の留意点	より良い手技を行うために基礎体力を養い、体調管理を心がけてください。また、身体や白衣を清潔に保つとともに、施術者として相応しい接遇やふるまいを心がけてください。	
自己学習の進め方	日頃から解剖学に基づいた施術を意識し、後期末の臨床実習前施術実技試験及び翌年度の臨床実習に向けては、各種身体診察の習得のため、理療臨床医学各論や臨床医学総論の復習を充分に行ってください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本フットヘルス 2013年	
参考書/参考資料		

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう応用実習Ⅰ（臨床実習前施術実技試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	森川 賢一	
修得単位数	4単位	
年間授業時数	120時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	施術者として必要な施術に関する知識と技術を学習するとともに、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を身につけます。	
到達目標	(1) 患者への配慮を意識した身だしなみ、言葉遣い、接遇ができる。 (2) 医療面接及び身体診察（現代医学的診察を中心に）ができる。 (3) 病態に応じた選穴・配穴・取穴ができる。 (4) 一定の時間内に症状に応じた鍼灸施術（鍼施術を中心に）ができる。 (5) 鍼灸施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
授業計画	前期計（15週）	前期計 60時間
	①ガイダンス ②基本刺鍼の復習 ③現行十七手技 ④全身調整穴の取穴と施術 ⑤全身への施術 ⑥臨床実習に向けたトレーニング ※臨床実習前施術実技試験等 ⑦前期期末試験 ⑧試験の講評	1 10 4 12 12 20 1
	後期計（15週）	後期計 60時間
	⑨主な症状に対する診察と施術 (1) 腰痛 (2) 頸肩腕痛 (3) 肩関節痛・肘関節痛 (4) 股関節痛・膝関節痛 ⑩特殊療法 ⑪臨床実習に向けたトレーニング ※臨床実習前施術実技試験等 ⑫後期期末試験 ⑬臨床実習前施術実技試験 ⑭試験の講評	12 12 12 6 5 12 1
実務経験の有無 その活かし方	有	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師
	実務経験を活かして、実際の臨床で遭遇した疾患、治療法、注意点などを紹介し、臨床をイメージしながら実技に応用できる技術と知識を養います。	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。なお、後期期末試験には臨床実習前施術実技試験の内容を含みます。	
履修上の留意点	身体や白衣を常に清潔に保つよう心がけてください。 実習中は、鍼刺し事故等の過誤が生じないように、充分留意してください。 技術の習熟度に合わせ適宜時間数を調整します。 必要に応じて灸施術も行います。	
自己学習の進め方	この科目では解剖学、経絡経穴概論、東洋医学概論の知識を必要とするので、積極的に当該科目の復習をしてください。授業時間外で刺鍼練習を人体に行う場合には、教官の立ち合いが必要です。ので遠慮なく声をかけてください。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床（改訂第5版） オリエンス研究会 岡山ライハウス 2021年	
参考書/参考資料	新版 経絡経穴概論 拡大版 第2版13刷 日本理療科教員連盟・公益社団法人 東洋療法学校協会 編 医道の日本社 2025年	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	あん摩マッサージ指圧応用実習Ⅱ（臨床実習前施術実技試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	渡邊 麗恵	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	1年次に修得したあん摩、マッサージ、指圧の基礎的技術を発展・向上させ、各種疾患・症状に対する病態把握と応用的治療技術を学習することにより、3年次のあん摩マッサージ指圧臨床実習に応用できる技術と態度を学びます。	
到達目標	(1) 患者への配慮を意識した身だしなみ、言葉遣い、接遇ができる。 (2) 医療面接及び身体診察ができる。 (3) 症状に応じて、あま指施術の手技を選択し施術ができる。 (4) あま指施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
授業計画	前期計 (15週)	前期計 30時間
	1. 導入（指導計画の説明等）	2
	2. 1年次のマッサージ施術の基礎の確認	6
	3. 日常遭遇しやすい主な症候・疾患に対する施術	16
	4. 臨床入門（臨床実習前施術実技試験への対応を含む）	6
	5. 期末試験	
授業計画	後期計 (15週)	後期計 30時間
	1. 日常遭遇しやすい主な症候・疾患に対する施術	14
	2. 運動療法	6
	3. 臨床入門(臨床実習前施術実技試験への対応を含む)	8
	4. 臨床実習前施術実技試験	
	5. 期末試験	
	6. 早期臨床体験実習	2
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90%、平常点10%）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。なお、後期期末試験には臨床実習前施術実技試験の内容を含みます。	
履修上の留意点	施術部位の解剖学的特徴を理解し、応用手技を正しくかつ安全に行うよう授業に臨んでください。授業への参加に当たっては、施術者としてふさわしい身だしなみや態度（清潔な白衣の準備、言葉遣い、体調管理、爪を整えるなど）を心がけてください。授業中はマスクの着用を求めます。	
自己学習の進め方	施術部位の解剖学的特徴を予習をして実習に臨んでください。配布資料を精読し手順内容の理解に努めてください。	
使用教科書	保健理療基礎実習 第2版 都立文京盲学校理療科研究会 日本ライハウス 2013年	
参考書/参考資料	盲学校理療科標準教科用図書 解剖学 第2版19刷 盲学校理療教科用図書編纂委員会編・河野邦雄・伊藤隆造ほか、医歯薬出版 2025年	

令和8年度 授業計画書(シラバス)

科目名	はりきゅう応用実習Ⅱ（臨床実習前施術実技試験等を含む）	
課程	あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科 専門課程	
対象クラス	2年	
担当教官名	阿部 博明	
修得単位数	2単位	
年間授業時数	60時間	
授業の方法	実技	
科目の概要 (授業科目の内容)	東洋医学的な病態把握に基づく診察と鍼灸施術について、臨床実習に向けて最低限必要な知識と技術を学びます。特に脈診と腹診、難経六十九難や兪募配穴、身体診察所見などに基づく証の立てかた及び治療の基礎について学びます。	
到達目標	(1) 患者への配慮を意識した身だしなみ、言葉遣い、接遇ができる。 (2) 医療面接及び身体診察ができる。 (3) 病状に応じた証を立て、選穴・配穴・取穴ができる。 (4) 一定の時間内に症状に応じた鍼灸施術（灸施術を中心に）ができる。 (5) 鍼灸施術に関わる衛生管理及びリスク管理ができる。	
授業計画	前期計 （15週）	前期計 30時間
	1. ガイダンス 2. 基本施灸の復習 3. 背部兪穴の取穴と施灸 4. 東洋医学的診察と施術の概要 5. 脈状診 6. 腹診 7. 臨床入門 ＊臨床実習前施術実技試験への準備 8. 施術所見学実習（札幌） 9. 試験に向けた練習 10. 総括的評価（実技試験） 11. 総括的評価のフィードバック	1 2 4 3 4 4 7 1 3 1
	後期計 （15週）	後期計 30時間
	1. 兪募配穴、原絡配穴、循経取穴 2. 六部定位脈診と難経六十九難に基づく施術 4. 試験に向けた練習 ＊臨床実習前施術実技試験への準備5時間を含む。 5. 臨床実習前施術実技試験 6. 総括的評価（実技試験） 7. 総括的評価のフィードバック 8. 臨床実習室での環境認知・模擬施術	4 6 14 1 5
実務経験の有無 その活かし方	無	
成績評価の方法	「理療教育実施細則」及び「評価及び試験実施要領」に基づき、前期と後期の期末に実技試験を実施します。各学期の評価（実技試験90％、平常点10％）の平均点を学年末評価とします（小数点以下は切り捨て）。なお、後期期末試験には臨床実習前施術実技試験の内容を含みます。	
履修上の留意点	身体や白衣を常に清潔に保つよう心がけてください。 実習中は、火傷事故等が生じないように、充分留意してください。 技術の習熟度に合わせ、適宜時間数を調整します。 必要に応じて鍼施術も行います。	
自己学習の進め方	東洋医学的な病態把握に基づく施術をするためには、東洋医学概論と経絡経穴概論の知識が必要です。また、解剖学に基づいた身体観察と触察も重要となります。これらの科目について、復習をしてください。	
使用教科書	鍼灸実技 基礎と臨床（改訂第5版） オリエンス研究会 岡山ライハウス 2021年	
参考書/参考資料		